

障害者支援に対する理解について

～できるを伸ばす！その人らしさとは？～

○目次

1. 実習先の概要 2. 事例・個別支援計画の紹介 3. 学んだこと 4. 感想

○実習先の概要

1.1 障害者支援施設 三愛園

種別: 障害者支援施設

事業内容: 生活介護事業、施設入所支援事業、短期入所事業

定員: 生活介護事業・施設入所支援事業 51名 / 短期入所事業 7名

1.2 就労継続支援事業所 B型 わくわくワーク

種別: 障害福祉サービス事業所

支援内容: 作業（茶布団の茶葉入れ、木工作業等）、休日イベント

利用者特徴: 知的障害、発達障害、自閉症など幅広い障害に対応。

1.3 神戸市立自立センターたるみ

種別: 生活介護施設

活動内容: 野外活動、下請け作業、リサイクル活動、創作・音楽プログラム、地域交流など。

1.4 西はりまりハビリテーションセンター

種別: 障害者支援施設

事業内容: 日中活動（生活介護）、夜間活動（施設入所支援）。利用者の自立支援を促進するプログラムを実施。

○事例・個別支援計画の紹介

2.1 わくわくワーク A さん

- 背景: 知的障害。ADL は自立、IADL は一部困難。
- 生活課題: 挨拶ができるようになる、苦手な作業への丁寧な取り組み。
- プランニング例:
- イラストを活用した挨拶練習。
- ジェスチャーや視覚的サポートで作業スキル向上を図る。

2.2 神戸市立自立センターたるみ B さん

- 背景: 自閉症、強度行動障害。
- 生活課題: 他者との関わりを増やす、見通しを立てる支援。
- プランニング例:自身の活動の記録や支援員との手紙交換を通して人との関わりを増やす。
タイマー、腕時計を活用した行動の切り替え支援。

2.3 西はりまりハビリテーションセンター C さん

- 背景: 身体障害。転倒リスクの高い車椅子利用者
- 生活課題: 安全な歩行、転倒防止。
- プランニング例:安全性を高める車椅子の改良。
リハビリや障害者スポーツへの参加を支援。

○学んだこと

3.1 利用者理解

- 非言語コミュニケーション（表情や声のトーン）や適切な距離感を重視。
- 利用者それぞれの特性に応じた柔軟な対応。

3.2 個別支援計画の作成

- ニーズの汲み取りと、利用者主体の支援計画の重要性を学ぶ。
- 環境や社会資源の活用必要性。

3.3 その他

- 多職種連携の重要性。
- 地域福祉状況に関する知識の習得。

○感想

- 貴重な体験を通して、障害者支援における重要な視点を学んだ。
- 個別支援計画の実践を通じて、利用者との信頼関係構築の大切さを実感した。
- 今後の将来像を明確にする良い機会となった。